

2024 年度  
(第 10 期)  
事 業 報 告 書

自 2024 年 1 月 1 日

至 2024 年 12 月 31 日

公益財団法人 杉浦記念財団

## 2024年度（第10期）事業報告書

### 1. 事業の概況

#### (1) 地域医療・福祉振興事業

当財団は、医学・薬学・看護学・福祉学等の進歩発展、医薬品の研究・開発、医薬品の安定的且つ安全な供給と医療従事者及び福祉従事者その他の人材の育成を支援することにより、地域医療・福祉を振興し、以って、国民の健康と福祉の増進に寄与することを目的に掲げております。

超高齢社会の一層の進展、人生100年時代にあつて、国民の皆が生き生きと活躍し、安心して暮らしていくためには、健康が維持されていること、活躍の場（生き甲斐）があることの両者が重要とされ、地域医療・福祉の振興の領域は、単に医療・介護サービスの提供体制の構築に止まらず、健康の維持増進や介護予防といった健康寿命の延伸に資する取り組み、さらには地域共生社会の実現にまで広がりを見せております。

上記の認識のもと、「地域医療・福祉の振興」を目的とする活動を行う事業を「地域医療・福祉振興事業」と定義し、当事業年度において、以下の各活動を実施いたしました。

#### A. 第13回杉浦地域医療振興助成

第13回杉浦地域医療振興助成の募集・選考・授与を以下の要領で実施いたしました。

助成の対象	地域医療・福祉振興の分野で、優れた研究や活動を行っている個人・団体で、今後より有意義な研究や活動の成果が期待されるもの
募集・選考結果	募集期間：2024年1月1日から同年2月29日まで 応募数：134件（研究分野81件、活動分野53件） 助成授与数：14件（研究分野6件、活動分野8件） 助成額：総額10,000,000円 （研究分野7,080,000円、活動分野2,920,000円）
授与式等	2024年7月11日に帝国ホテル東京で、第13回杉浦助成の授与式を開催いたしました。また、第13回杉浦助成の内容、第12回杉浦助成の成果報告を当財団ホームページに公表いたしました。

第13回杉浦地域医療振興助成の選考委員は、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
委員長	荒井 秀典	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 理事長
委員	大原 弘隆	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 病院長
委員	岡田 啓	元 愛知医科大学 教授 薬剤部長
委員	片山 陽子	香川県立保健医療大学 保健医療学部 看護学科 副学長 教授
委員	高瀬 義昌	医療法人社団至高会 理事長 たかせクリニック 院長 ／公益財団法人日米医学医療交流財団 会長

役名	氏名	所属・役職
委員	平井 みどり	神戸大学 名誉教授／ 京都大学 大学院医学研究科 特任教授
委員	藤田 あゆみ	株式会社スギ薬局 人材開発部 教育課 兼 経営企画本部 薬局連携プロジェクト
委員	堀 美智子	医薬情報研究所 株式会社エス・アイ・シー 取締役 医薬情報部門責任者
委員	松本 晴年	元 名古屋市立大学 薬剤部 調剤主査

(注) 五十音順で記載しております。

## B. 第13回杉浦地域医療振興賞

第13回杉浦地域医療振興賞の募集・選考・授与を以下の要領で実施いたしました。

褒賞の対象	地域医療・福祉を振興し、国民の健康と生活の向上に優れた成果をおさめ、住み慣れた地域で安心して、その人らしく住み続けることを支援する活動を行った団体・個人
募集・選考結果	募集期間 : 2023年10月1日から同年12月31日まで 応募数 : 45編 褒賞授与数: 最優秀賞2編、優秀賞2編 褒賞内容 : 表彰盾及び副賞 (最優秀賞2,000,000円、優秀賞1,000,000円、総額6,000,000円)
授与式等	2024年7月11日に帝国ホテル東京で、第13回杉浦賞の授与式を開催いたしました。また、第13回杉浦賞の内容を当財団ホームページに公表いたしました。

第13回杉浦地域医療振興賞の審査委員は、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
委員長	大島 伸一	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 名誉総長／日本福祉大学 常務理事
委員	秋山 弘子	東京大学 名誉教授／東京大学高齢社会総合研究機構 客員教授
委員	柴田 博	桜美林大学 名誉教授／一般社団法人日本応用老年学会 会長
委員	辻 哲夫	東京大学高齢社会総合研究機構・未来ビジョン研究センター 客員研究員

(注) 五十音順で記載しております。

予算対比正味財産増減計算書（杉浦地域医療振興助成・杉浦地域医療振興賞）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
雑収益	0	128,108	128,108
その他雑収益	0	128,108	128,108
経常収益計	0	128,108	128,108
(2) 経常費用			
事業費	28,660,378	27,548,104	△1,112,274
消耗品費	10,000	330,000	320,000
印刷製本費	2,910,000	3,087,470	177,470
その他	2,910,000	3,087,470	177,470
諸謝金	1,228,500	1,000,005	△228,495
選考委員謝礼	1,228,500	1,000,005	△228,495
支払手数料	1,000	550	△450
その他	1,000	550	△450
租税公課	1,116,878	1,022,991	△93,887
給料手当	1,602,000	1,523,941	△78,059
支払助成金	10,000,000	10,000,000	0
支払褒賞金	6,000,000	6,000,000	0
広告宣伝費	45,000	0	△45,000
会議費	4,078,000	3,110,478	△967,522
授与式会議費用	4,078,000	3,059,341	△1,018,659
選考委員会会議費用	0	51,137	51,137
旅費交通費	1,369,000	1,361,176	△7,824
選考委員旅費交通費	219,000	245,537	26,537
授与式参加者旅費交通費	900,000	932,303	32,303
その他	250,000	183,336	△66,664
通信運搬費	300,000	111,493	△188,507
経常費用計	28,660,378	27,548,104	△1,112,274
評価損益等調整前当期経常増減額	△28,660,378	△27,419,996	1,240,382
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△28,660,378	△27,419,996	1,240,382

経常収益は13万円で、これは、過年度の杉浦助成授与対象者からの余剰金返還額を雑収益に計上したものです。

また、経常費用は2,755万円で、予算比△111万円となりました。主な差異は、以下のとおりです。

- 授与式で懇親会を実施しなかったことによる会議費の未達（△97万円）
- 選考委員の授与式欠席による諸謝金の未達（△23万円）
- 第14回杉浦賞・杉浦助成の募集案内書類の発送をまとめたことによる通信運搬費の未達（△19万円）
- 杉浦賞表彰状・杉浦助成目録用ホルダーの購入費の予算未計上による消耗品費の超過（+32万円）

### C. 都市型の看護介護医療等連携研究会

都市型の看護介護医療等連携研究会では、都市に住む高齢者が住み慣れた地域に住み続けることを前提に、これを支援する多職種協働のあるべき姿を追究しており、当事業年度は4回開催いたしました。

各回の概要は、以下のとおりです。

【第6期：診療所や訪問看護による在宅医療を支える多彩な機能一病院・歯科医療。薬局などの活動を探る】

	開催日	テーマ／講師
第1回	2024年 3月21日 (木)	チームで「生きがい」を支える～在宅医療 32年の実践から～ ／ 太田 秀樹（医療法人アスミス 理事長）
第2回	2024年 5月9日 (木)	ウィリアム・オスラーを乗り越えたのか／ 新田 國夫（医療法人社団つくし会 理事長 新田クリニック 院長）
第3回	2024年 7月18日 (木)	岡山県医師会の地域包括ケアの取り組み～移動会長室事業を中心に～／松山 正春（公益社団法人岡山県医師会 会長）
第4回	2024年 9月12日 (木)	江戸川区を医療・介護・生活支援のモデル地域に～24時間 365日当たり前の幸せを守る在宅診療所として／山中 光茂（医療法人社団しろひげファミリー しろひげ在宅診療所 院長）

当該研究会の参加メンバーは、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
座長	田中 滋	埼玉県立大学 理事長／慶應義塾大学 名誉教授
副座長	秋山 正子	株式会社ケアーズ 代表取締役 白十字訪問看護ステーション 統括所長 暮らしの保健室 室長
副座長	高瀬 義昌	医療法人社団至高会 理事長 たかせクリニック 院長 ／公益財団法人日米医学医療交流財団 会長
副座長	宮島 渡	社会福祉法人恵仁福祉協会 常務理事／高齢者総合福祉施設アザレアさんだ 総合施設長
アドバイザー	齋藤 訓子	関東学院大学 看護学部 学部長 教授
アドバイザー	宮島 俊彦	岡山大学 客員教授
アドバイザー	森 貞述	特定非営利活動法人地域ケア政策ネットワーク 理事 ／元 愛知県高浜市長
会員	朝田 隆	医療法人社団創知会 理事長 メモリークリニックお茶の水 院長／筑波大学 名誉教授
会員	阿部 智子	訪問看護ステーションけせら 管理者
会員	栗田 圭一	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 認知症未来社会創造センター センター長
会員	石山 麗子	国際医療福祉大学大学院 教授
会員	板谷 匠	社会医療法人財団仁医会 牧田総合病院 経営企画室 室長・リハビリステーション部 部長
会員	伊藤 善典	埼玉県立大学 社会福祉子ども学科 社会福祉学専攻・大学院研究科 教授

役名	氏名	所属・役職
会 員	上田 恵子	公益財団法人さわやか福祉財団 新地域支援事業マネジャー
会 員	宇都宮 宏子	在宅ケア移行支援研究所 代表
会 員	大木 一正	有限会社クリーン薬局 代表取締役
会 員	大澤 光司	株式会社メディカルグリーン 代表取締役社長
会 員	岡田 太造	兵庫県立大学 大学院経営研究科 客員教授
会 員	岡本 茂雄	国立研究開発法人産業技術総合研究所 招聘研究員／ノバケア株式会社 代表取締役
会 員	勝又 浜子	公益社団法人日本看護協会 副会長
会 員	川越 正平	あおぞら診療所 院長
会 員	木全 真理	東京大学高齢社会総合研究機構 特任助教
会 員	小玉 剛	公益財団法人 8020 推進財団 専務理事／一般社団法人東京都東久留米市歯科医師会 会長
会 員	古都 賢一	社会福祉法人全国社会福祉協議会 副会長
会 員	椎名 美恵子	有限会社ふれすか 代表取締役 訪問看護ステーションみけ 所長
会 員	柴田 範子	特定非営利活動法人楽 理事長
会 員	清水 肇子	公益財団法人さわやか福祉財団 理事長
会 員	清水 まや	社会医療法人財団仁医会 理事 牧田総合病院 人事部長
会 員	助川 未枝保	社会福祉法人六親会 船橋市三山・田喜野井地域包括支援センター センター長
会 員	関根 竜哉	株式会社フレアス 取締役副社長
会 員	高砂 裕子	一般社団法人南区医師会 南区医師会訪問看護ステーション 管理者
会 員	高橋 紘士	東京通信大学 名誉教授
会 員	高橋 望	公益財団法人さわやか福祉財団 新地域支援事業担当リーダー
会 員	竹林 洋一	一般社団法人みんなのケア情報学会 理事長／創造する心株式会社 代表取締役／静岡大学 名誉教授
会 員	鶴山 芳子	公益財団法人さわやか福祉財団 常務理事
会 員	長尾 和宏	医療法人社団裕和会 理事長 長尾クリニック 院長
会 員	新田 國夫	医療法人社団つくし会 理事長 新田クリニック 院長

役名	氏名	所属・役職
会 員	野中 久美子	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加とヘルシーエイジング研究チーム 研究員
会 員	馬袋 秀男	一般社団法人「民間事業の質を高める」全国介護事業者協議会 特別理事
会 員	日栄 優	社会福祉法人京都福祉サービス協会 理事京都市本能 特別養護老人ホーム 施設長
会 員	藤田 正之	医療法人仁医会 理事 西尾市地域包括支援センター西 尾 センター長
会 員	藤原 佳典	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 社会科学系副所長
会 員	船木 良真	医療法人三つ葉 理事長
会 員	山下 和彦	東都大学 幕張ヒューマンケア学部 臨床工学科 教授
会 員	山下 知子	東都大学 幕張ヒューマンケア学部 助教
会 員	山本 智美	株式会社マイナビ 常務取締役
会 員	弓削 健二	社会福祉法人高浜市社会福祉協議会 事務局長
会 員	吉江 悟	東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員／一般社 団法人 NeighborhoodCare 代表理事

(注) 五十音順で記載しております。

予算対比正味財産増減計算書（都市型の看護介護医療等連携研究会）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	1,262,782	1,244,263	△18,519
諸謝金	165,000	109,092	△55,908
その他	165,000	109,092	△55,908
租税公課	107,782	107,698	△84
給料手当	759,000	741,158	△17,842
会議費	27,000	107,242	80,242
研究会会議費	27,000	107,242	80,242
旅費交通費	198,000	173,568	△24,432
研究会会員旅費交通費	72,000	92,706	20,706
その他	126,000	80,862	△45,138
通信運搬費	6,000	5,505	△495
経常費用計	1,262,782	1,244,263	△18,519
評価損益等調整前当期経常増減額	△1,262,782	△1,244,263	18,519
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△1,262,782	△1,244,263	18,519

経常費用は124万円で、予算比△2万円となりました。主な差異は、以下のとおりです。

- 研究会開催が6回の想定に対し4回であったこと等による諸謝金、旅費交通費の未達（△8万円）
- 対面・オンライン併用で2回開催したことによる会議費の超過（+8万円）
- 給料手当の未達（△2万円）

#### D. 医薬品適正使用協働研究会

医薬品適正使用協働研究会では、医薬品適正使用の観点から、チーム医療における協働のあり方を追究しており、当事業年度は5回開催いたしました。

各回の概要は、以下のとおりです。

	開催日	テーマ／講師
第52回	2024年 2月14日 (水)	ポリファーマシーの実態解明と包括的介入方法の開発／ 溝神 文博（国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 薬剤部 薬物治療管理主任・長寿医療研修部 高齢者薬学教育研修室長）
第53回	2024年 4月17日 (水)	生活習慣病の薬物療法とトランスポーターについて／ 高田 龍平（東京大学医学部附属病院 教授 薬剤部長）
第54回	2024年 6月19日 (水)	薬物療法適正化に特化した多面的評価法とCGA—算出する指標を中心に据えた評価・連携方法の構築—／富田 尚希（東北医科薬科大学 老年・地域医療学（総合診療科）講師／東北大学加齢医学研究所 臨床加齢医学研究分野 非常勤講師）
第55回	2024年 10月16日 (水)	高齢者施設の服薬簡素化提言について／ 丸岡 弘治（介護老人保健施設 横浜あおぼの里 薬局長）
第56回	2024年 12月11日 (水)	高齢者の薬物療法と多職種による包括的支援—看護師の視点から—／糀屋 絵理子（大阪大学 大学院医学系研究科 保健学専攻 老年看護学教室 助教）

当該研究会の参加メンバーは、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
座長	秋下 雅弘	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター センター長
副座長	倉田 なおみ	昭和大学 薬学部 社会健康薬学講座 社会薬学部門・臨床薬学講座 臨床栄養代謝学部門 客員教授
副座長	鈴木 裕介	名古屋大学医学部附属病院 地域連携・患者相談センター 病院准教授
副座長	水上 勝義	筑波大学 人間総合科学学術院 教授
会員	飯島 勝矢	東京大学高齢社会総合研究機構 機構長 未来ビジョン研究センター 教授
会員	五十嵐 中	横浜市立大学 大学院データサイエンス研究科 ヘルスデータサイエンス専攻 准教授／東京大学 大学院薬学系研究科 医薬政策学 客員准教授
会員	石崎 達郎	京都市保健福祉局 健康長寿のまち・京都推進室 担当部長
会員	大井 一弥	鈴鹿医療科学大学 薬学部 学部長・薬学科 教授
会員	大嶋 繁	城西大学 薬学部 薬学科 教授
会員	大田 秀隆	秋田大学高齢者医療先端研究センター センター長・教授
会員	大谷 道輝	公益財団法人佐々木研究所 研究事務室 室長（薬学博士）

役名	氏名	所属・役職
会 員	大屋 亜希子	一般社団法人サードパス（愛称：医療“学び場”創造機構）代表理事
会 員	岡崎 光洋	秋田大学 大学院医学系研究科 遠隔医療推進開発研究センター 准教授／一般社団法人スマートヘルスケア協会 代表理事
会 員	恩田 光子	大阪医科薬科大学 薬学部 社会薬学・薬局管理学研究室 教授
会 員	金澤 幸江	一般社団法人土浦薬剤師会 顧問
会 員	亀井 浩行	名城大学 薬学部 病院薬学研究室 教授
会 員	亀井 美和子	帝京平成大学 薬学部 学部長 教授
会 員	川添 哲嗣	徳島文理大学 香川薬学部 薬学科 准教授
会 員	岸本 桂子	昭和大学 薬学部 社会健康薬学講座 社会薬学部門 教授
会 員	栗原 正亮	有限会社みわ薬局 代表取締役副社長／一般社団法人広島市薬剤師会 理事
会 員	小島 太郎	国際医療福祉大学 医学部 教授
会 員	小西 公子	聖マリアンナ医科大学 神経精神科学教室 研究員
会 員	佐藤 啓	公益財団法人日本薬剤師研修センター 特別顧問
会 員	柴田 ゆうか	広島大学病院 薬剤部 副薬剤部長
会 員	島崎 良知	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 薬剤科長
会 員	杉浦 伸一	同志社女子大学 薬学部 医療薬学科 教授
会 員	鈴木 匡	名古屋市立大学 特任教授 名誉教授
会 員	鈴木 慶介	公益社団法人地域医療振興協会 薬剤部会 代表／台東区立台東病院 老人保健施設千束
会 員	清野 敏一	帝京平成大学 薬学部 薬学科 教授
会 員	高瀬 義昌	医療法人社団至高会 理事長 たかせクリニック 院長／公益財団法人日米医学医療交流財団 会長
会 員	橋本 浩伸	国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院 薬剤部 部長
会 員	浜田 将太	一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 研究部 担当部長
会 員	伴 信太郎	中津川市地域総合医療センター センター長
会 員	平井 みどり	神戸大学 名誉教授／ 京都大学 大学院医学研究科 特任教授
会 員	福島 紀子	慶応義塾大学 薬学部 名誉教授

役名	氏名	所属・役職
会 員	福田 八寿絵	鈴鹿医療科学大学 医療人底力教育センター センター長
会 員	舩津 久美	社会福祉法人全国重症心身障害児（者）を守る会 薬剤検査料 科長
会 員	古田 勝経	医療法人愛生館小林記念病院 褥瘡ケアセンター長／国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 特任研究員
会 員	堀 美智子	医薬情報研究所 株式会社エス・アイ・シー 取締役 医薬情報部門責任者
会 員	舛本 祥一	筑波大学附属病院 地域総合診療医学 講師
会 員	丸岡 弘治	医療法人社団協友会 介護老人保健施設横浜あおぼの里
会 員	真野 泰成	東京理科大学 薬学部 薬学科 教授
会 員	水野 智博	藤田医科大学 医学部 薬物治療情報学 准教授
会 員	溝神 文博	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 薬剤部長寿医療研修センター 高齢者薬学教育研修室 室長
会 員	宮崎 さやか	静岡県立大学 薬食生命科学総合学府 薬学研究院薬食研究推進センター
会 員	八木原 栄	東京都福祉保健局 障害者施策推進部／東京都立府中療育センター 薬剤科 薬剤科長
会 員	山浦 克典	慶応義塾大学 薬学部 教授 附属薬局長
会 員	山中 崇	東京大学 大学院医学系研究科 在宅医療学講座 特任教授
会 員	吉尾 隆	東邦大学 薬学部 医療薬学教育センター 臨床薬学研究室 教授（精神科専門薬剤師）
会 員	渡部 大介	国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院 薬剤部 副部長

（注）五十音順で記載しております。

予算対比正味財産増減計算書（医薬品適正使用協働研究会）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	1,338,682	1,053,914	△284,768
諸謝金	165,000	136,365	△28,635
その他	165,000	136,365	△28,635
租税公課	114,682	90,378	△24,304
給料手当	759,000	741,159	△17,841
会議費	144,000	31,339	△112,661
研究会会議費	144,000	31,339	△112,661
旅費交通費	153,000	54,108	△98,892
研究会会員旅費交通費	63,000	6,297	△56,703
その他	90,000	47,811	△42,189
通信運搬費	3,000	565	△2,435
経常費用計	1,338,682	1,053,914	△284,768
評価損益等調整前当期経常増減額	△1,338,682	△1,053,914	284,768
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△1,338,682	△1,053,914	284,768

経常費用は 105 万円で、予算比△28 万円となりました。主な差異は、以下のとおりです。

- 研究会開催が 6 回の想定に対し 5 回であったこと等による諸謝金、会議費、旅費交通費、租税公課（消費税）の未達（△26 万円）
- 給料手当の未達（△2 万円）

## E. 愛知県地域再生・まちづくり研究会

愛知県地域再生・まちづくり研究会では、4人に1人が75歳以上となることが予想される2060年、その当事者世代が、個別テーマを徹底的に深掘りし、何が必要なのかを明らかにすることを目的としており、当年度は3月1日に開催し、認知症フレンドリーな社会の在り方、向き合い方について討論しました。

当該研究会の参加メンバーは、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
座長	大島 伸一	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 名誉総長／日本福祉大学 常務理事
会員	青山 幸一	豊根村 住民課長
会員	岩岡 ひとみ	特定非営利活動法人全国福祉理美容師養成協会（NPOふくりび）事務局長／愛知学院大学 経営学部 非常勤講師
会員	都築 晃	藤田医科大学 保健衛生学部 リハビリテーション学科 療法士教育学分野 講師
会員	西岡 麻知子	南医療生活協同組合 総合病院南生協病院 事務長
会員	長谷川 友紀	公益財団法人あいちコミュニティ財団 事務局
会員	三矢 勝司	名古屋学院大学 現代社会学部 准教授
会員	若杉 玲子	長久手市 市長公室次長 兼 秘書課長
アドバイザー	後 房雄	愛知大学 地域政策学部 地域政策学科 教授／名古屋大学 名誉教授
オブザーバー	大森 雅弥	中日新聞 編集局 編集委員
オブザーバー	糸 和彦	名古屋市立大学 大学院薬学研究科・薬学部 神経薬理学分野 教授
オブザーバー	鈴木 敦秋	元 読売新聞編集委員（医療部）／南医療生活協同組合 専務室企画
オブザーバー	武藤 英夫	株式会社ジャパンライフデザインシステムズ

（注）五十音順で記載しております。

予算対比正味財産増減計算書（愛知県地域再生・まちづくり研究会）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	1,423,712	381,500	△1,042,212
諸謝金	82,500	27,273	△55,227
その他	82,500	27,273	△55,227
租税公課	122,412	33,112	△89,300
給料手当	759,000	187,119	△571,881
会議費	270,000	50,385	△219,615
研究会会議費	270,000	50,385	△219,615
旅費交通費	180,000	83,611	△96,389
研究会会員旅費交通費	180,000	83,611	△96,389
通信運搬費	9,800	0	△9,800
経常費用計	1,423,712	381,500	△1,042,212
評価損益等調整前当期経常増減額	△1,423,712	△381,500	1,042,212
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△1,423,712	△381,500	1,042,212

経常費用は 38 万円で、予算比△104 万円となりました。主な差異は、以下のとおりです。

- 研究会開催が 3 回の想定に対し 1 回であったこと等による諸謝金、会議費、旅費交通費、通信運搬費、租税公課（消費税）の未達（△47 万円）
- 研究会の活動が 3 月までであったため、4 月以降の職員 2 名の人件費を他の活動に振り替えたことによる給料手当の未達（△57 万円）

## F. 健康増進セミナー

健康増進セミナーでは、年齢を重ねても、健やかに暮らしていくのに役立つ講演会を株式会社スギ薬局との共催にて実施しており、当事業年度は4回開催いたしました。

概要は、以下のとおりです。

開催	テーマ／講師	参加人数
2024年1月21日(日) 8会場(埼玉県川口市・東京都千代田区・東京都港区・愛知県名古屋市中村区・愛知県大府市・京都府京都市左京区・大阪府大阪市淀川区・大阪府大阪市北区)	運動と認知機能の同時刺激で転倒を予防しよう／ 青山 朋樹(京都大学 医学部 人間健康科学科 教授) ドラッグストアで健康になろう／ 杉浦 伸哉(株式会社スギ薬局 取締役副社長／公益財団法人杉浦記念財団 副理事長)	1,426名
2024年4月21日(日) 5会場(埼玉県川口市・東京都港区・愛知県名古屋市西区・愛知県大府市・大阪府大阪市北区)	ステージⅣ舌がんが私に学ばせてくれた人生にとって大切なこと／ 堀 ちえみ(歌手・タレント) ドラッグストアで健康になろう／ 杉浦 伸哉(株式会社スギ薬局 取締役副社長／公益財団法人杉浦記念財団 副理事長)	1,781名
2024年9月22日(日) 5会場(埼玉県さいたま市大宮区・東京都千代田区・愛知県名古屋市西区・愛知県大府市・大阪府大阪市北区)	70歳の壁をぴんぴん元気に越えよう～血管・脳・骨・筋肉の若返り法教えます～／ 鎌田 實(諏訪中央病院 名誉院長／地域包括ケア研究所 所長／「がんばらない介護生活を考える会」代表) ドラッグストアで健康になろう／ 杉浦 伸哉(株式会社スギ薬局 取締役副社長／公益財団法人杉浦記念財団 副理事長)	2,186名
2024年11月24日(日) 5会場(埼玉県さいたま市大宮区・東京都千代田区・愛知県名古屋市西区・愛知県大府市・大阪府大阪市北区)	大丈夫だよ、がんばろう！／ 山田 邦子(お笑いタレント) ドラッグストアで健康になろう／ 杉浦 伸哉(株式会社スギ薬局 取締役副社長／公益財団法人杉浦記念財団 副理事長)	1,950名

予算対比正味財産増減計算書（健康増進セミナー）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	2,956,019	3,648,386	692,367
消耗品費	10,000	3,446	△6,554
印刷製本費	910,000	953,500	43,500
その他	910,000	953,500	43,500
租税公課	255,019	316,991	61,972
給料手当	969,000	1,081,793	112,793
会議費	24,000	0	△24,000
セミナー会議費用	24,000	0	△24,000
旅費交通費	188,000	60,903	△127,097
セミナー講師旅費交通費	28,000	928	△27,072
その他	160,000	59,975	△100,025
通信運搬費	600,000	1,231,753	631,753
経常費用計	2,956,019	3,648,386	692,367
評価損益等調整前当期経常増減額	△2,956,019	△3,648,386	△692,367
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△2,956,019	△3,648,386	△692,367

経常費用は 365 万円で、予算比+69 万円となりました。主な差異は、以下のとおりです。

- セミナー会場への備品の輸送にチャーター便を利用したこと等による通信運搬費の超過（+63 万円）
- 職員の移動が想定よりも少なかったこと等による旅費交通費の未達（△13 万円）
- 4 月以降に活動のなかった愛知県地域再生・まちづくり研究会から職員 1 名分の人件費を振り替えたことによる給料手当の超過（+11 万円）

## G. 地域包括ケアを担う薬剤師の為のインターネット研修

地域包括ケアを担う薬剤師の為のインターネット研修では、医師、看護師、その他スタッフとの密接な連携のもとに地域医療における療養環境の充実に貢献することができる薬剤師の育成に資する講座を開設しており、当該研修の受講により、研修認定薬剤師制度における集合研修の単位を取得することができます。なお、当事業年度末日現在の提供講座数は 192 講座、登録受講者数は 6,921 名です。

### 予算対比正味財産増減計算書（地域包括ケアを担う薬剤師の為のインターネット研修）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	18,455,600	22,927,335	4,471,735
受取研修会費	18,455,600	22,927,335	4,471,735
経常収益計	18,455,600	22,927,335	4,471,735
(2) 経常費用			
事業費	18,666,260	15,780,970	△2,885,290
印刷製本費	2,500,000	1,080,000	△1,420,000
教材撮影編集費	2,500,000	1,080,000	△1,420,000
諸謝金	2,377,500	1,361,278	△1,016,222
セミナー講師謝礼	2,377,500	1,361,278	△1,016,222
支払手数料	10,201,000	9,407,461	△793,539
I D管理費	3,336,000	3,485,000	149,000
日本薬剤師研修センター認定費	3,605,000	3,650,000	45,000
その他	3,260,000	2,272,461	△987,539
租税公課	△141,074	△159	140,915
給料手当	2,694,000	2,967,951	273,951
広告宣伝費	30,000	0	△30,000
会議費	0	4,111	4,111
セミナー会議費用	0	4,111	4,111
旅費交通費	288,000	243,530	△44,470
セミナー講師旅費交通費	48,000	0	△48,000
その他	240,000	243,530	3,530
通信運搬費	12,000	8,631	△3,369
減価償却費	704,834	708,167	3,333
経常費用計	18,666,260	15,780,970	△2,885,290
評価損益等調整前当期経常増減額	△210,660	7,146,365	7,357,025
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△210,660	7,146,365	7,357,025

経常収益は 2,293 万円で、予算比+447 万円となりました。また、経常費用は 1,578 万円で、予算比△289 万円となり、主な差異は、コンテンツ作成想定が過剰であったことによる印刷製本費、諸謝金、支払手数料の未達（△323 万円）、4 月以降に活動のなかった愛知県地域再生・まちづくり研究会から職員 1 名分の人件費を振り替えたことによる給料手当の超過（+27 万円）です。

## H. 冊子等制作物提供

上記各活動に関連して当財団が制作した冊子等の無償贈呈に対する申込みをホームページ等で受け付け、また、同じく当財団が制作した電子ファイルが無償でダウンロードできるようホームページに掲載する等、学習機会を提供しています。

### ■実施中の冊子等の無償贈呈

<https://sugi-zaidan.jp/smf/book-cooperation/>

- ・都市型の看護介護医療等連携研究会 講演集 Vol.5
- ・都市型の看護介護医療等連携研究会 講演集 Vol.6
- ・都市型の看護介護医療等連携研究会 講演集 Vol.7

### ■実施中の無償ダウンロードできる電子ファイル掲載

<https://sugi-zaidan.jp/smf/book-townplan/>

- ・愛知県地域再生・まちづくり研究会 長生きを喜べるまちへ「愛知への提言」
- ・愛知県地域再生・まちづくり研究会 長生きを喜べるまちへ「真の高齢問題は40年後にくる」
- ・愛知県地域再生・まちづくり研究会 次世代チーム報告 長生きを喜べるまちをつくるために「未来の生き方改革」

<https://sugi-zaidan.jp/smf/book-lifespan/>

- ・介護予防・認知症予防のためのリフレッシュ運動

<https://sugi-zaidan.jp/smf/book-reward/>

- ・第11回杉浦地域医療振興賞・杉浦地域医療振興助成報告集
- ・第12回杉浦地域医療振興賞・杉浦地域医療振興助成報告集
- ・第13回杉浦地域医療振興賞・杉浦地域医療振興助成報告集

## I. 公益事業共通

公益事業共通には、個別の公益活動に属さない収益や費用を各活動共通のものとして計上しております。

### 予算対比正味財産増減計算書（公益事業共通）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	11,172,328	11,172,328	0
基本財産受取利息	46,328	46,328	0
基本財産受取配当金	11,126,000	11,126,000	0
受取寄付金	24,601,245	22,742,184	△1,859,061
受取寄付金	24,601,245	22,742,184	△1,859,061
経常収益計	35,773,573	33,914,512	△1,859,061
(2) 経常費用			0
事業費	132,000	115,518	△16,482
支払手数料	120,000	105,021	△14,979
その他	120,000	105,021	△14,979
租税公課	12,000	10,497	△1,503
経常費用計	132,000	115,518	△16,482
評価損益等調整前当期経常増減額	35,641,573	33,798,994	△1,842,579
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	35,641,573	33,798,994	△1,842,579

経常収益は、3,391万円で、予算比△186万円となりました。以下のとおり当年度の公益事業共通への受取寄付金計上額を算出した結果、受取寄付金が予算比△186万円となりました。

当年度の一般寄附金総額	(a)	45,408,000
当年度の公益目的事業会計の事業費計上額	(b)	49,772,655
当年度の公益目的事業会計の経常収益計上額 (受取寄付金以外)	(c)	34,227,771
当年度の特定資産計上増減額	(d)	7,197,300
前年度の公益目的事業会計の余剰金	(e)	0
当年度の公益事業共通への受取寄付金計上額	(f) : (b) - (c) + (d) - (e)	22,742,184
当年度の一般事業への受取寄付金計上額	(a) - (f)	22,665,816

また、経常費用は12万円で、予算比△2万円となり、これはホームページからの寄附金の決済に係る支払手数料、租税公課（消費税）の未達（△2万円）によるものです。

## (2) 一般事業

一般事業には、当財団の管理・運営に係る収益及び費用を計上しております。

## 予算対比正味財産増減計算書（一般事業）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	4,000,000	4,000,000	0
基本財産受取配当金	4,000,000	4,000,000	0
受取寄付金	13,398,755	22,665,816	9,267,061
受取寄付金	13,398,755	22,665,816	9,267,061
雑収益	46,328	53,104	6,776
受取利息	46,328	52,627	6,299
その他雑収益	0	477	477
経常収益計	17,445,083	26,718,920	9,273,837
(2) 経常費用			
管理費	13,190,490	14,455,558	1,265,068
役員等報酬	2,000,000	1,450,000	△550,000
評議員報酬	700,000	500,000	△200,000
理事報酬	900,000	550,000	△350,000
監事報酬	400,000	400,000	0
消耗品費	100,000	151,655	51,655
印刷製本費	3,148,400	2,820,358	△328,042
賃借料	180,000	180,000	0
支払手数料	1,084,708	1,246,150	161,442
租税公課	843,582	980,681	137,099
給料手当	2,148,000	2,088,164	△59,836
支払寄付金	300,000	400,000	100,000
広告宣伝費	1,200,000	1,200,000	0
ホームページ関連費用	1,200,000	1,200,000	0
会議費	425,000	1,980,620	1,555,620
旅費交通費	270,000	169,947	△100,053
評議員旅費交通費	60,000	45,955	△14,045
理事旅費交通費	104,000	36,059	△67,941
監事旅費交通費	56,000	55,250	△750
職員旅費交通費	50,000	32,683	△17,317
通信運搬費	436,800	630,658	193,858
電話料	96,000	91,972	△4,028
その他	340,800	538,686	197,886
減価償却費	554,000	554,000	0
雑費	500,000	603,325	103,325
その他	500,000	603,325	103,325
経常費用計	13,190,490	14,455,558	1,265,068
評価損益等調整前当期経常増減額	4,254,593	12,263,362	8,008,769
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	4,254,593	12,263,362	8,008,769

経常収益は、2,672 万円で、予算比+927 万円となりました。

また、経常費用は 1,446 万円で、予算比+127 万円となりました。主な差異は以下のとおりです。

- 寄附者、支援者への感謝状贈呈等による会議費、通信運搬費、消耗品費の超過（+180 万円）
- 役員等の評議員会、理事会等の欠席による役員等報酬、旅費交通費の未達（△65 万円）
- 会計に係るクラウドサーバ、ソフトウェアの利用料の増加による支払手数料の超過（+16 万円）

#### 2024 年度（第 10 期）寄附金受入状況

当事業年度の寄附金の受入状況は、以下のとおりです。

- 総件数 406 件  
うち法人から 290 件、うち個人から 116 件
- 総 額 45,408,000 円  
うち法人から 38,450,000 円、うち個人から 6,958,000 円

なお、寄附金取扱規程に基づき、受取寄付金として公益事業共通に 22,742,184 円を、一般事業に 22,665,816 円をそれぞれ計上しております。

## 2. 決算の概況

### (1) 正味財産増減計算書（決算報告書 2～3 頁）

一般正味財産増減の部では、経常収益 8,369 万円（前年度比＋423 万円）に対し、経常費用は、事業費 4,977 万円（前年度比△322 万円）、管理費 1,446 万円（前年度比＋198 万円）、合計 6,423 万円（前年度比△124 万円）でした。当期経常増減額は 1,946 万円（前年度比＋546 万円）となり、経常外増減がありませんでしたので、当期一般正味財産増減額も 1,946 万円（前年度比＋546 万円）となりました。その結果、一般正味財産期末残高は、期首残高 5,550 万円から＋1,946 万円の 7,496 万円となりました。

指定正味財産増減の部では増減がありませんでしたので、指定正味財産期末残高は期首残高と同額の 208 億 4,791 万円となりました。

以上の結果、正味財産期末残高は 209 億 2,287 万円（前年度比＋1,946 万円）となりました。

### 正味財産増減計算書の要旨

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	83,688,875	79,462,664	4,226,211
(2) 経常費用			
事業費	49,772,655	52,989,470	△3,216,815
管理費	14,455,558	12,474,983	1,980,575
経常費用計	64,228,213	65,464,453	△1,236,240
評価損益等調整前当期経常増減額	19,460,662	13,998,211	5,462,451
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	19,460,662	13,998,211	5,462,451
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	19,460,662	13,998,211	5,462,451
一般正味財産期首残高	55,495,705	41,497,494	13,998,211
一般正味財産期末残高	74,956,367	55,495,705	19,460,662
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	20,847,910,372	20,847,910,372	0
指定正味財産期末残高	20,847,910,372	20,847,910,372	0
III 正味財産期末残高	20,922,866,739	20,903,406,077	19,460,662

(2) 貸借対照表 (決算報告書 1 頁)

流動資産は、6,142 万円 (前年度比+1,369 万円) となり、インターネット研修の大口法人との会費の交渉が期末に及んだために生じた未収金 943 万円が増加要素の大半を占めています。

固定資産は、208 億 7,322 万円 (前年度比+613 万円) となり、特定資産の公益事業準備資金を従前の公 4 事業準備資金からの移行積立てのうえ、別途 720 万円計上したことが増加要素のほとんどを占めています。

以上の結果、資産合計は、209 億 3,464 万円 (前年度比+1,982 万円) となりました。

流動負債は、1,177 万円 (前年度比+36 万円) となり、インターネット研修の課税売上の計算期間が前年度の 6 か月間から当年度は 1 年間となり、未払消費税等が前年度比+77 万円となったことが増加要素の大半を占めており、一方、未払金は全般的に縮小され、前年度比△67 万円となりました。固定負債に該当するものがないので、負債合計は流動負債と同額となります。

なお、資産負債の詳細につきましては、財産目録 (決算報告書 9 頁) に記載のとおりです。

貸借対照表の要旨

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	50,349,652	46,093,073	4,256,579
未収金	11,019,264	1,437,503	9,581,761
その他	48,413	193,077	△144,664
<b>流動資産合計</b>	<b>61,417,329</b>	<b>47,723,653</b>	<b>13,693,676</b>
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	20,847,971,645	20,847,975,317	△3,672
<b>基本財産合計</b>	<b>20,847,971,645</b>	<b>20,847,975,317</b>	<b>△3,672</b>
(2) 特定資産			
公益事業準備資金	13,000,000	0	13,000,000
公 4 事業準備資金	0	5,802,700	△5,802,700
<b>特定資産合計</b>	<b>13,000,000</b>	<b>5,802,700</b>	<b>7,197,300</b>
(3) その他固定資産			
什器備品	2	2	0
ソフトウェア	2,191,167	3,253,334	△1,062,167
投資有価証券	10,061,273	10,064,945	△3,672
<b>その他固定資産合計</b>	<b>12,252,442</b>	<b>13,318,281</b>	<b>△1,065,839</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>20,873,224,087</b>	<b>20,867,096,298</b>	<b>6,127,789</b>
<b>資産合計</b>	<b>20,934,641,416</b>	<b>20,914,819,951</b>	<b>19,821,465</b>
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	3,553,462	4,224,941	△671,479
前受金	7,312,313	7,060,324	251,989
預り金	23,202	10,209	12,993
未払消費税等	885,700	118,400	767,300
<b>流動負債合計</b>	<b>11,774,677</b>	<b>11,413,874</b>	<b>360,803</b>
<b>負債合計</b>	<b>11,774,677</b>	<b>11,413,874</b>	<b>360,803</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
(うち基本財産への充当額)	20,847,910,372	20,847,910,372	0
2. 一般正味財産	74,956,367	55,495,705	19,460,662
(うち基本財産への充当額)	61,273	64,945	△3,672
(うち特定資産への充当額)	13,000,000	5,802,700	7,197,300
<b>正味財産合計</b>	<b>20,922,866,739</b>	<b>20,903,406,077</b>	<b>19,460,662</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>20,934,641,416</b>	<b>20,914,819,951</b>	<b>19,821,465</b>

### 3. 法人の概況

#### (1) 設立日及び公益認定日

設立日及び公益認定日は、以下のとおりです。

- 設 立 日 2011年9月1日
- 公益認定日 2015年7月1日

#### (2) 主たる事務所の所在地

主たる事務所の所在地は、以下のとおりです。

- 愛知県大府市横根町新江 62番地の1

#### (3) 定款に定める目的

定款に定める目的は、以下のとおりです。

- 医学・薬学・看護学・福祉学等の進歩発展、医薬品の研究・開発、医薬品の安定的且つ安全な供給と医療従事者及び福祉従事者その他の人材の育成を支援することにより、地域医療・福祉を振興し、以って、国民の健康と福祉の増進に寄与すること

#### (4) 定款に定める事業内容

定款に定める事業内容は、以下のとおりです。

- 地域医療・福祉の振興に関わる活動等に対する助成、褒賞
- 地域医療・福祉の振興に係る社会実験への助成、参画
- 医師、薬剤師、看護師等の医療従事者及び福祉従事者その他の人材の育成事業及び当該事業に対する助成、褒賞
- 医学・薬学・看護学・福祉学・社会保障等に関する研究・調査事業及び当該事業に対する助成、褒賞
- 医薬品の研究・開発に対する助成、褒賞
- その他前条の目的を達成するために必要な事業

## (5) 役員

2024年12月31日現在の役員は、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
理事長	杉浦 昭子	スギホールディングス株式会社 相談役
副理事長	杉浦 伸哉	スギホールディングス株式会社 取締役副社長／株式会社スギ薬局 取締役副社長 事業本部長
理事	秋下 雅弘	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター センター長
	大島 伸一	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 名誉総長／日本福祉大学 常務理事
	亀井 浩行	名城大学 薬学部 病院薬学研究室 教授
	高瀬 義昌	医療法人社団至高会 理事長 たかせクリニック 院長／公益財団法人日米医学医療交流財団 会長
	堀 美智子	医薬情報研究所 株式会社エス・アイ・シー 取締役 医薬情報部門責任者
	山村 恵子	藤田医科大学 医療科学部 先進診断システム探索部門 高度薬学情報管理学 教授
監事	加藤 克彦	加藤克彦公認会計士税理士事務所 所長
	神谷 誠	公認会計士神谷誠事務所 所長

(注) 五十音順で記載しております。

## (6) 評議員

2024年12月31日現在の評議員は、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
評議員会長	杉浦 広一	スギホールディングス株式会社 顧問
評議員	荒井 秀典	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 理事長
	倉田 なおみ	昭和大学 薬学部 社会健康薬学講座 社会薬学部門・臨床薬学講座 臨床栄養代謝学部門 客員教授
	杉浦 克典	スギホールディングス株式会社 代表取締役社長／株式会社スギ薬局 代表取締役社長
	鈴木 匡	名古屋市立大学 特任教授 名誉教授
	高橋 紘士	東京通信大学 名誉教授
	田中 滋	埼玉県立大学 理事長／慶應義塾大学 名誉教授
	辻 哲夫	東京大学高齢社会総合研究機構・未来ビジョン研究センター 客員研究員
	伴 信太郎	中津川市地域総合医療センター センター長

(注) 五十音順で記載しております。

(7) 事務局組織

2024年12月31日現在における事務局組織は、以下のとおりです。

職員構成

事務局長	1名
企画グループ	2名
総務・経理グループ	2名

(8) 理事会

当事業年度に開催した理事会は、以下のとおりです。

開催日	目的事項
2024年2月20日 理事会（決議の省略の方法による）	【決議事項】 ・2023年度（第9期）事業報告書、計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びこれらの附属明細書並びに財産目録承認の件 ・第9回定時評議員会招集の件
2024年3月7日 理事会	【決議事項】 ・第13回杉浦地域医療振興賞承認の件 ・公益目的事業統合のための変更認定申請の件
2024年4月29日 理事会（決議の省略の方法による）	【決議事項】 ・第13回杉浦地域医療振興助成実施の件
2024年7月11日 理事会	【報告事項】 ・業務執行状況報告の件
2024年8月14日 理事会（決議の省略の方法による）	【決議事項】 ・2024年度（第10期）事業計画書及び収支予算書補正の件
2024年12月5日 理事会	【報告事項】 ・業務執行状況報告の件 【決議事項】 ・2025年度（第11期）事業計画書及び収支予算書承認の件 ・特定費用準備資金変更（取崩し・移行積立て）の件

(9) 評議員会

当事業年度に開催した評議員会は、以下のとおりです。

開催日	目的事項
2024年3月7日 第9回定時評議員会	【報告事項】 ・2023年度（第9期）事業報告書報告の件 【決議事項】 ・2023年度（第9期）計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録承認の件 ・評議員2名選任の件 ・理事3名選任の件
2024年8月14日 評議員会（決議の省略の方法による）	【決議事項】 ・2024年度（第10期）事業計画書及び収支予算書補正の件
2024年12月13日 評議員会（決議の省略の方法による）	【決議事項】 ・2025年度（第11期）事業計画書及び収支予算書承認の件

以上

## 2024年度（第10期）事業報告の附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項の規定に基づいて記載すべき事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。

2025年2月

公益財団法人杉浦記念財団